



月刊労働千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)
電話(鉄電) 千葉 2935・2936番
(公) 043(222)7207番

95.8.18 No. 4244

9 阪神大震災 被災地労働者を支援する集い

1 聞こう！被災地の声を に結集しよう！

「被災・支援連」九・一集いが、東京・曳舟文化センターで行なわれる。われわれは同じ労働者としての魂、真価をかけて「被災・支援連」運動を支えきなくてはならない。

六〇〇〇人を越える二次犠牲者

「阪神大震災」から六カ月、半年が経過したが、まだ避難所や公園では、県下で一万七千人の方々が生活している。

自殺者を含まない震災と因果関係のある死者(二次犠牲者)は、六〇五五人となっている。

また仮設住宅で病死し放置され発見された件数も、七月一日現在十件にのぼっている。

震災以上の追い打ちかける

神戸市による被災者の切り捨て

こうした中で神戸市は、この七月末から、「避難所解消の期限」を設けるとして、食事の配給を打ち切り、神戸市で一二箇所ある「テント村公園」からさえ追い出そうとしている。

また建設された仮設住宅は、ベニヤ板ほどの壁でプライバシーも確保されず、「会うのは老人ばかり、刑務所のように隔離されているみたいでつらい」、「知った顔のいる避難所の方がいい」等々、深刻な声があふれている。

さらに、生活保護受給者には、「避難所に居る間は、生活保護は受けられない」、「義援金を先に使え」、「自立更正報告書を出し、使途を明らかにしない

と保護を打ち切る」と神戸市は、震災以上の追い打ちをかけているのです。

生活のための収入もなく！

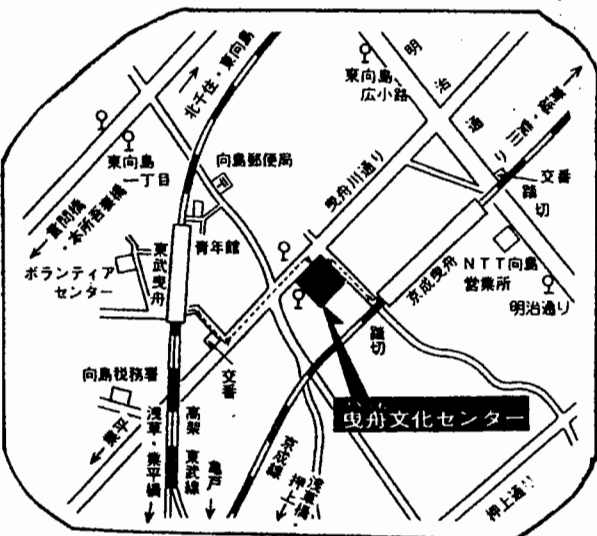
こうした中、震災によって失業した被災者の、雇用保険給付は七月末から需給期限切れに入っている。雇用調整助成金も期限切れが迫っているなど、今また解雇・失業問題が大きな問題となっている。とくに四〇歳を越える求人自体が少ないなど、再就職のメドもたない。

被災者に死ねというのか！

これに対して、労働省・県・職安は、「失業者はピークを越えた」、「求人は足りているいるから失業給付は延長支給しない」、「職を変えろ。安くても我慢しろ。県外で捜せ」、「女子学生の就職の方がもっと厳しい。被災失業者には失業給付の延長もしたし、もうこれ以上特別扱いができない」と、露骨に震災被災者に対して、「死ね」と言うに等しい切り捨ての態度・対応に出てきている。

進めよう被災・支援連運動

ゆえに、今や、「被災・支援連」運動の持つに至った意味はきわめて大きい。全ての震災被災者の生活を守り、命を守る、そのひとつひとつの運動に、被



災者ひとりひとりの命運がかかっていると言える。われわれは、「被災・支援連」運動を全力で支えきらなくてはならない。

ならない。全国津々浦々にまで広げなければならない。そのためにも、全力で九・一集いに結集しよう！

八・六〜八・九広島・長崎闘争に代表派遣！

被爆者の信念を我がものに！
被爆五〇年目の、「八・六」ヒロシマに、「千葉県民会議」の仲間とともに参加し、三日間やりきってきた。

八・九ナガサキ闘争に参加して

青年部派遣団として、二度目の八・九ナガサキ反戦大行動に参加させていただきました。現地の集会では、朝鮮人爆撃者や従軍慰安婦問題の話しを聞いて、日本の労働者として胸が詰まりました。

二度とあやまちをくり返さないために、「戦争・被爆」責任をハッキリさせ、侵略戦争を許さぬ、闘う決意を新たにしました。

(八・九ナガサキ青年部派遣団) **新たな反戦・反核 闘争の構築へ向け**

かなりの人が拍手をしてくれ、改めて、自らの責任を感じながら行動を終了してきました。
(八・六ヒロシマ派遣団)

とき/ 9月1日(金) 午後6時開場 6時半より

ところ/ 曳舟文化センター(東京都墨田区京島1-38-1)

行き方 ☆京成曳舟駅下車、押上方面よりの改札口を出て右折し、徒歩1分(京成押上線・都営地下鉄浅草線と直通運転)
☆東武曳舟駅下車、改札口を出て左折し、徒歩4分(東武伊勢崎・日光線、東武亀戸線)